

介護食育初任者研修とは

平成 25 年 4 月より、「訪問介護員養成研修（1 級～3 級）」及び「介護職員基礎研修」は「介護職員初任者研修」に一元化されました。本研修は、これまで複雑だった介護人材の養成体系を明確化し、介護の世界で生涯働き続けることができるようにするために、介護職の入り口の研修として、新たに創設されたものです。本校は、養成機関として指定され、2 年次より福祉系の生徒対象に研修が行われます。

平成 27 年 5 月現在

法人情報	学校法人 望洋大谷学園 〒050-0061 室蘭市八丁平 3 丁目 1 番 1 号 理事長 藤岡 巧
研修期間 情報	事業所名称～望洋大谷学園介護職員初任者研修（北海道大谷室蘭高等学校）登別市 理 念～在宅サービスの中核となる介護職員の養成をはかり、高齢社会への対応の 一助とすることを理念とする。 学 則～ 施設・設備～北海道大谷室蘭高等学校 福祉教室、視聴覚教室他
研修の概要	研修形態～ 昼間 修業年限～ 8 か月 研修期間～ 1 年 6 か月 定 員(人)～ 50 名 受 講 料～ 5,000 円 受講対象者～本校生徒及び教職員 留意事項～ 受講申し込み後、指定の期日までに学校事務室まで納入すること。
課程責任者	責任者名～ 平木佑奈（福祉教員免許）
研修カリキ ュラム	科目 (1)職務の理解(6 時間) (2)介護における尊厳の保持・自立支援(9 時間) (3)介護の基本(6 時間) (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携(9 時間) (5)介護におけるコミュニケーション技術(6 時間) (6)老化の理解(6 時間) (7)認知症の理解(6 時間) (8)障害の理解(3 時間) (9)こころとからだのしくみと生活支援技術(75 時間) (10)振り返り(4 時間) 主要テキスト 介護職員初任者研修テキスト 中央法規

平木佑奈（福祉教員）

(9) ころとからだのしくみと生活支援技術

- ① 介護の基本的な考え方
- ② 介護に関するころのしくみの基礎的理解
- ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解
- ④ 生活と家事
- ⑤ 快適な居住環境整備と介護
- ⑥ 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護

吉田信子（介護福祉士）

(9) ころとからだのしくみと生活支援技術

- ⑨ 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護
- ⑩ 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護

(1) 職務の理解

- ① 多様なサービスの理解
- ② 介護職の仕事内容や働く現場の理解

渡辺知恵子（介護福祉士）

(3) 介護の基本

- ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携
- ② 介護職の職業倫理
- ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント
- ④ 介護職の安全

(9) ころとからだのしくみと生活支援技術

- ⑦ 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護

(8) 障害の理解

- ③ 家族の心理、かかわり支援の理解

桑田賢一（介護福祉士）

(9) ころとからだのしくみと生活支援技術

- ⑫ 死にゆく人に関連したころとからだのしくみと終末期介護
- ⑬ 介護過程の基礎的理解

(10) 振り返り

- ① 振り返り
- ② 就業への備えと研修終了後における継続的な研修

石井ますみ（介護福祉士）

(9) ころとからだのしくみと生活支援技術

- ⑭ 総合生活支援技術演習
- ⑧ 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護

(5) 介護におけるコミュニケーション技術

- ①介護におけるコミュニケーション
- ②介護におけるチームのコミュニケーション

村岡洋平（理学療法士）

- (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携
 - ②医療との連携とリハビリテーション

小倉正治（介護福祉士）

- (2)介護における尊厳の保持・自立支援
 - ①人権と尊厳を支える介護
 - ②自立に向けた介護
- (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携
 - ①介護保険制度
 - ③障害者総合支援制度およびその他制度

泉ミエ子（介護福祉士）

- (6)老化の理解
 - ①老化に伴うこころとからだの変化と日常
- (7)認知症の理解
 - ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活
- (7)認知症の理解
 - ①認知症を取り巻く状況
 - ④家族への支援
- (9)こころとからだのしくみと生活支援技術
 - ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護

西下勝江（看護師）

- (6)老化の理解
 - ②高齢者と健康
- (7)認知症の理解
 - ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理
- (8)障害の理解
 - ①障害の基礎的理解
 - ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識

<p>修了認定</p>	<p>(1)出欠の確認方法 各教科の開始前に出欠確認を出席簿で行う。</p> <p>(2)成績の評定方法 講義及び演習については、習得が十分行われているか口頭試問及び筆記試験を行う。また、実習については、実習指導者が評価を行い、本校教務内規に基づいて評定をつける。</p> <p>(3)修了の認定方法 通学及び通信の演習・実習については、研修教科のすべてに出席しなければならない。ただし、欠席した教科については、当会の指定する他の講座を受講することにより、出席したものとして扱う。</p> <p>(4) 修了証明書 修了が認定された者には、修了証明書を交付する。</p>
<p>実績情報</p>	<p>過去3年間</p> <p>平成23年度 29名</p> <p>平成24年度 27名</p> <p>平成25年度 47名</p> <p>平成26年度 46名</p> <p>昨年度まで、294名の生徒が資格を取得しました。</p>
<p>その他</p>	<p>連絡先：学校法人 望洋大谷学園 北海道大谷室蘭高等学校</p> <p>福祉担当：佐藤孝司（法人苦情対応者）</p> <p>福祉担当：平木佑奈（事業所苦情対応者）</p> <p>電話：0143-44-5641</p>